

2024 年度の事業報告

(2024 年1月1日から 2024 年 12 月 31 日まで)

特定非営利活動法人ランナーズサポート北海道

1、事業の成果

A)スポーツボランティアの普及・啓蒙

2024 年に発刊したスポーツボランティア情報誌「北のスポボラ」を 32 号(3月)「スポーツの世界 もっと広げたい～五輪金メダリスト阿部雅司さんに聞く～」、33 号(7 月)「80 代 元気にフルマラソン～札幌の井上さん 82 歳ランキングで全国 1 位～」、34 号(12 月)「マラソン大会をランナーがつくる～北海道マラソンクラブ～」を発行した。発行部数は各 2,300 部。継続した取り組みで年々認知度が高まっている。

B)北海道マラソンの運営支援ほか

北海道マラソンの一層の普及のため、今年もマラソン教室を開催した。5 月 11 日より開講し計 6 回シリーズで実施した。指導はランニングの科学的研究とコーチングが専門の元北海道教育大教授の杉山喜一さん、北海道医療大の山口明彦教授、井上恒志郎講師。5 回目の 30km 走(7 月 14 日)には約 150 名が参加した。また北海道マラソン前日には教室の番外編として大通 7 丁目の EXPO 特設ステージで直前ランニングセミナーを開催した。大会終了後には教室参加者の要望で「エンジョイランニングスクール(ERS)」を 9 月から 11 月までに 6 回実施した。

C)北海道マラソンチャリティーエントリーの取り組み

今年度も北海道マラソン組織委員会の協力を得て北海道マラソン「チャリティーエントリー」を実施した。これは、5 万円を NPO に寄付すると出場権を得るシステムで、2013 年に認定 NPO の認証を受けたため、寄付者には税制優遇制度が適用されるのが国内他大会のチャリティーと異なる。今大会では 10 人のランナーとその賛同・応援の寄付で計 76 万円が寄せられ、エントリー運営経費 1 割を除いた額をランナーの希望をもとに、道内の公益財団法人、NPO 法人など 8 団体・事業の活動支援に計 68 万 4,000 円を贈った。

寄付先指定法人(復興支援 1 団体 1 事業)	(都市名)	(金額)
・公益財団法人そらぶちキッズキャンプ	滝川市	27 万円
障がい・福祉分野 (3 団体)		
・認定 NPO 法人 Kacotam	札幌市	6万 1,200 円
・認定 NPO 法人函館視聴覚障害者図書館	函館市	
・WEW とから	帯広市	//
自然・環境分野 (2 団体)		
・公益財団法人知床自然大学設立財団	斜里町	5万 7,150 円
・チトセコ	千歳市	//
スポーツ・文化・地域おこし分野 (2 団体)		
・NPO 法人札幌座くらぶ	札幌市	5万 8,050 円
・ウタピリカ	//	//

D) 北海道スノーマラソン

第10回を記念する北海道スノーマラソンは1月28日(日)、澄み切った青空のもと八紘学園特設コースを会場に、10km314人、3km143人、計457人の参加者と、43人のボランティアの運営体制で実施された。積雪などの影響でコースがやや狭くなった感があったが、スタッフの適切な対応により大きな支障はなかった。10回開催を記念して抽選によるプレゼントを渡し、参加者に喜ばれた。

E) 北海道ランニング大会ガイド

北海道ランニング大会ガイド(WEB)を制作しホームページでの公開を継続した。事務局の長能潔氏を中心に取材、編集、制作にあたり、北海道マラソンをはじめ、道内のランニングイベント情報を網羅し、広く情報を発信した。

F) 事務局を移転

10月下旬の北海道新聞本社の移転に伴い、札幌市中央区大通東4丁目北海道新聞社ビル5階に事務局を移転し、同月28日(月)業務を再開した。電話番号は継続、メールでの問い合わせがほとんどのためファクスは廃止とした。